

WAKA-P

和歌山県文化情報誌 ワカピー

関西から

文化力
POWER OF CULTURE

2014年
7・8月号

Vol. 56

Wakayama Culture and Arts **POWER**

九度山で耐え忍んだ 真田幸村の決意

「郷土の偉人の足跡を辿る」

Contents

アーティストメッセージ…2

和歌山県文化表彰受賞者…3

イベントガイド…4・5

郷土の偉人の足跡を辿る…6

輝く、和歌山人…7

カルチャーインフォメーション…8

真田庵(九度山町)

真田幸村父子の屋敷跡に建てられた「真田庵」。境内には宝物資料館があり、幸村の遺品を見ることが出来ます。幸村は九度山の地で毎日欠かさず戦いの準備を行っていました。

artist message

アーティスト メッセージ

市川猿之助と市川中車の 襲名披露が和歌山で初公演

9月8日(月)に松竹大歌舞伎公演として、市川亀治郎改め四代目市川猿之助 九代目市川中車のダブル襲名披露公演を開催します。公演を前にお二人が会見に臨み思いを語っていただきました。

Q 今回ダブル襲名披露公演ということで当地においても大変人気を呼んでいます。襲名にはどんな思いをお持ちですか？ また上演の演目の見どころは？

A 市川中車：初舞台から2年経ち、歌舞伎に対する思いが変わってきました。もっと早くからやりたかったですね。これほどすべて完璧に構築されている歌舞伎、長い時間をかけてできたその完全体を見せられると、理屈は理解してもできない自分にもどかしさを感じます。でも、時間をかけてやっている、ある

日、1ミリ前進したと錯覚する…。今はそれを楽しみに前に進んでいます。

Q 今回は小栗栖の長兵衛(おぐるすのちょうべえ)に出演されますね。

A 市川中車：2年前、新橋演舞場で歌舞伎に初めて出させていただいた作品です。少しでも自らの前進を実感できる60分でありたいと…。襲名披露興行を4か月積み重ねた先の長兵衛を見てください。

Q 襲名して2年が経ちました。

A 市川猿之助：襲名して2年というより、随分前から猿之助だった気がします。スーパー歌舞伎の継承として、スーパー歌舞伎Ⅱ(セカンド)を上演。古典

の継承では先輩から預かった荷物を次に渡す役目を果たすこと、それから、スーパー歌舞伎Ⅱの次回作など忙しいながらも充実した時を過ごしています。

Q 今回出演される義経千本桜 川連法眼館の場(かわつらほうげんやかたのば)について教えてください。

A 市川猿之助：澤瀉屋型ならではの数々の仕掛けや早替りなど趣向溢れる華やかな1幕物です。親子の情愛を描いた名作をご覧ください。

Q 舞台に向けての意気込みをお教えてください

市川猿之助：それぞれの土地の美味しいものをいただき、それを活力にして皆さんに会いに行きます。温かく迎えてください

市川中車：猿之助さんをはじめ澤瀉屋(おもだかや)一門が一緒に心強いですね。2年間、修業したものを少しでもこの公演にぶつけたいと思います。



猿之助(右)と中車(左)の口上 写真提供・松竹

9/8

松竹大歌舞伎

製作 松竹

市川亀治郎 改め 四代目 市川猿之助 襲名披露
九代目 市川中車

■開演／昼12時30分・夜5時 ■場所／和歌山県民文化会館大ホール
■入場料金／特等席10,000円(完売)、一等席9,000円
二等席A席(2階)8,000円、B席(2階)7,000円 ※各席当日500円増し
※未就学児のご入場はご遠慮願います。

夜の部は「義経千本桜 川連法眼館の場」「口上」「小栗栖の長兵衛」の順となります。

■お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331 タニガワ企画 TEL.073-436-4468

■義経千本桜		■小栗栖の長兵衛	
源義経	佐藤忠信	長兵衛	市川中車
中村梅玉	市川猿之助	市川中車	市川中車
中村梅玉	市川中車	市川猿之助	市川中車
中村梅玉	市川中車	市川猿之助	市川中車



和歌山県文化表彰とは、和歌山県の文化向上・発展に顕著な功績のある人たちに贈られる賞です。



平成25年度 和歌山県文化功労賞



歌人

多紀治子 (たきはるこ)さん

大正7年、和歌山市生まれ。昭和15年、東京女子高等師範学校(現お茶の水女子大学)で教鞭をとっていた歌人・尾上紫舟に師事し、同校文科卒業後、和歌山に戻り教師となる。戦前は県立女子師範学校、戦後は桐蔭高校、向陽高校などで国語を教え、63年におよぶ教壇生活を送りながら、歌人としても活躍。特に学生の頃から始めた短歌で力を発揮した。



「短歌の魅力は、自分の思いを素直に表現できるところ。日常のちょっとした楽しさ、美しさ、素朴さなどをありのままに詠っています」と大正7年生まれ



紀三井寺の歌碑に詠まれた短歌。文字の一つ一つに言葉の意味と想いが込められています。「やまざくら きよらに優に さきみちて 紀三井の寺の み庭はなやぐ」

歌人・多紀さんと歌との出会いは、文学と縁の深い家庭に育ったことにあります。生家は紀州藩でも有名な儒家の家柄。漢文に造詣が深かった父のもと、子どもの頃から古典文学に触れてきました。なかでも、古事記や万葉集、源氏物語などに精通。昭和

15年3月、東京女子高等師範学校(現お茶の水女子大学)で歌人・尾上紫舟に師事し、同校文科卒業後、故郷の和歌山で長年にわたり国語の教師として教壇に立ちながら、古典文学の教育に力を入れてきました。

教師として子どもたちを厳しく指導する一方、歌人としても遺憾なくその実力を発揮。「白き花朵」や「五葉樹」、「黄水仙」など、歌集も出版されています。

また自ら短歌を詠むだけでなく、朝日新聞和歌山歌壇の選者としても出詠歌の選考に携わり、和歌山県歌人クラブや和歌山文化協会文芸部に所属し、歌の選考や歌評を行ってきました。

昭和25年に創刊された歌誌「林間」では毎月、出詠や歌評、歌論を発表。支社の代表として、務めを果たしてきました。さらに県内の短歌会に所属する歌人などを中心に構成される和歌山県歌人クラブでは、平成12年度から顧問に、平成20年度からは名誉会長に就任して現在に至っています。

平成25年10月14日には多紀さんの功績をたたえ、西国三十三所観音霊場の第二番札所でもある和歌山市の紀三井寺に、歌碑が建立されました。「やまざくら きよらに優に さきみちて 紀三井の寺の み庭はなやぐ」。桜の名所として知られる紀三井寺の春の風景が目に見え、心に浮かびます。

「次はオリンピックの歌でも詠みましょうか(笑)」と、多紀さんの中では、前回の東京オリンピックも記憶に新しいところ。6年後に向け、まだまだ感性を磨き続けています。

人気のある『貸会議室』3時間1,600円～ 当日予約もOK!

県民文化会館には、年間20万人以上の方に利用される人気の貸会議室があります。人気の秘密は、集客のしやすさ&リーズナブルなお値段。更に、無料で使えるインターネット環境を全室に整備。大・小 23室ある会議室は、18名～120名の利用が可能で、研修や説明会、面接・試験会場として大活躍しています。是非、一度ご来館ください!県文ホームページから空室状況確認&インターネット予約OK!



4F 中会議室

■お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331
476台収容の県文有料駐車場あり(40分100円／24時間800円)

7/9 水 プレミアムクラシックコンサート vol.2 森 麻季ソプラノリサイタル

日本を代表するオペラ歌手森麻季のコーラトゥーラの類いまれなる技術、透明感のある美声と深い音楽性は各方面から絶賛されています。このコンサートでは、NHKスペシャルドラマ坂の上の雲のメインテーマ「Stand Alone」、 「花は咲く」など日本の歌からイタリア・オペラのアリアまで心に沁みる名曲の数々をお届けします。

■プログラム(予定) / ブッチーニ: 歌劇「ラ・ボエーム」より、私が街を歩くとき〜ムゼッタのワルツ
ブッチーニ: 歌劇「つばめ」より、ドレッタの夢
ブッチーニ: 歌劇「トゥーランドット」より、氷のような姫君の心も
「花は咲く」他



森 麻季

PROFILE ソプラノ 森 麻季(もり まき)

透明感ある美声と深い音楽性は各方面から絶賛され、世界バレエ開会式での独唱やNHKスペシャルドラマ「坂の上の雲」メインテーマなど、日本を代表するオペラ歌手として常に注目を集めている。

PROFILE ピアノ 山岸 茂人(やまぎし しげと)

声楽の伴奏者としては演奏家から常に深く信頼され、これまで著名な歌手と数多く共演を重ねている。

■開演/午後7時 ■場所/和歌山県民文化会館小ホール ■入場料金/5,000円(全席指定)

8/24 金 普段入ることが出来ない舞台の裏側を? のぞいてみませんか? けんぶんバックステージツアー参加者募集



- 開催日時/8/24(日) 午後1時の部、午後3時の部
- 開催場所/和歌山県民文化会館大ホール(舞台・音響室・照明室など)
- 募集人員/各20人 ■募集締め切り/8月5日(火)まで
- 参加料金/無料 ■見学時間/約1時間30分
- 申し込み方法/往復はがきに、ご希望の時間、お名前、住所、電話番号、年齢を記入し、郵送またはFAXで下記までお申し込みください。※グループでお申し込みの場合は、全員のお名前、年齢を記載ください
※応募者多数の場合は抽選となります。
- お問い合わせ・申し込み先/〒640-8269 和歌山市小松原通1-1
和歌山県民文化会館 バックステージツアー係
TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335

10/13 月祝 澤 和樹 指揮 紀尾井シンフォニエッタ東京 和歌山公演

紀尾井シンフォニエッタ東京は第一線で活躍している器楽奏者、主要オーケストラの首席奏者など、優れた演奏家がメンバーとして集い、その高い演奏技術とアンサンブル能力に裏打ちされた豊かな音楽性には定評があります。今回、この室内オーケストラのアドバイザーを務めている澤和樹氏指揮によるベートーヴェン交響曲第7番などの演奏をお楽しみください。

■指揮/澤和樹 ■クラリネット/コハーン・イシュトヴァーン ■演奏/紀尾井シンフォニエッタ東京
■プログラム(予定)/エルガー: 序奏とアレグロ、モーツァルト: クラリネット協奏曲、ベートーヴェン: 交響曲第7番

■開演/午後2時 ■場所/和歌山県民文化会館大ホール
■入場料金/S席(1F)5,000円、A席(2F)3,000円 ※全席指定 ※学生割引あり
【チケット販売について】 ■けんぶん友の会優先電話予約/7月15日(火)午前10時から ■一般(プレイガイド)発売/7月30日(水)から



指揮/澤 和樹

11/5 水 劇団わらび座 ミュージカル「ブッダ」 「火の鳥」「アトム」に続く、 手塚治虫×わらび座 作品第3弾!!

■原作/手塚治虫 ■脚本/齋藤雅文 ■演出/栗山民也 ■作曲/甲斐正人



わらび座はこれまで、第一弾「火の鳥 鳳凰編」では生命の連なりを、第二弾「アトム」では愛をテーマに、手塚治虫の普遍的メッセージを舞台化し上演して参りました。手塚治虫の「ブッダ」は、仏教の祖・仏陀に独自の視点を交え、生きる意味を問い、歩き続けて行く人間・ブッダの物語として描かれています。時代と民衆の渦の中でひたむきに生きるブッダの姿は、2500年経った今も、悩み苦しみながら現代を生きる私たちに、生きるとは何かの根源を投げかけてくれます。強力スタッフ陣とわらび座が挑む、新たな「ブッダ」にご期待ください。

■開演/午後6時30分 ■場所/和歌山県民文化会館大ホール
■入場料金/S席(指定席)4,000円、A席(指定席)3,000円、B席(2F・自由席)2,000円
【チケット販売について】 ■けんぶん友の会優先電話予約/7月14日(月)午前10時から
■一般(プレイガイド)発売/7月31日(木)から

わかふるコンサート

※わかふる「和歌山」の「わか」と「たくさん」の「full」を併せた造語です。県内各地でコンサートを開催しますので、楽しいひとときをコンサートでお楽しみください。

9/7

万葉観月の会(要予約・茶菓子付き)＋お月見コンサート

万葉
観月の会

- 開演／午後6時
- 参加費／500円(抹茶・菓子付き)
- 要予約先着30名
(定員になり次第締め切り)

お月見
コンサート

- 開演／午後7時 ■入場料金／無料
- 出演(予定)／【赤瀬夏紀(フルート)、濱野裕起子(ピアノ)】、
【寒川さがみ(ソプラノ)小泉乃林子(ピアノ)】、
【浅井由貴(クラリネット)、的場はるか(ピアノ)、賀代京太郎(パー
カッション)】、【鐘ヶ江仁美(ソプラノ)、佐守香里(ソプラノ)】

■場所／片男波公園(万葉館)和歌山市和歌浦南3丁目 ■申し込み／和歌公園管理事務所 TEL.073-446-5553

9/28

風土記の丘古民家
コンサート

- 開演／午後2時
- 場所／紀伊風土記の丘 旧柳川家住宅
(和歌山市岩橋1411)

- 入場料金／無料
- 出演(予定)／二胡来堂(二胡、中胡)、スノードロップ(ソプラノ、ヴァイ
オリン、ピアノ) PLANET NOTES(コーラスグループ)、デュオふぉるて
(フルート、ピアノ)

10/12

紙遊苑コンサート

- 開演／午後1時30分
- 場所／紀州高野紙伝承体験資料館・紙遊苑
(伊都郡九度山町慈尊院749-6)

- 入場料金／無料
- 出演(予定)／【宮本 静(歌)、木谷悦也(ピアノ)】、【野口真知子(ソプラ
ノ)】、Trio Reveur(クラリネット、ピアノ)【堤 敦子(ソプラノ)、雪野菜子
(ソプラノ)、四宮世奈(ソプラノ)】

平成26年度 優秀映画鑑賞推進事業 名作シネマシアター

本年度の優秀映画鑑賞推進事業は9月26日(金)田辺市、
9月30日(火)と10月1日(水)には和歌山市で開催します。

■開場／3日とも午前9時30分 ■上映開始／3日とも午前10時
■入場料金／前売券400円、当日券450円 ※全席自由

9/26(金)
紀南文化会館大ホール
(田辺市)

日本映画を代表する溝口健二監督が、
1950年代に世界の映画祭で絶賛を博し
た時代ものの名作4本を上映します。



西鶴一代女

1952年 新東宝＝児井プロ 137分

- 監督／溝口健二
- 出演／田中絹代、三船敏郎、
宇野重吉 他



雨月物語

1953年 大映 97分

- 監督／溝口健二
- 出演／京マチ子、田中絹代、
森雅之 他

9/30(火)、10/1(水)
和歌山県民文化会館
大ホール(和歌山市)

2日間共、戦後の混乱を乗り越え、復興の
時を迎えた日本に生きる様々な家族や夫
婦の姿を描いた作品4本を上映します。



煙突の見える場所

1953年 新東宝＝スタジオ8プロ 108分

- 監督／五所平之助
- 出演／田中絹代、上原謙、
高峰秀子 他



この広い空のどこかに

1954年 松竹 109分

- 監督／小林正樹
- 出演／高峰秀子、佐田啓二、
久我美子 他

■9月26日(金)上映時間

- ・西鶴一代女(137分) 10:00～12:17
- ・雨月物語(96分) 12:50～14:26
- ・山椒大夫(124分) 14:40～16:44
- ・近松物語(103分) 16:55～18:38

■9月30日(火)上映時間

- ・煙突の見える場所(108分) 10:00～11:48
- ・この広い空のどこかに(109分) 12:20～14:09
- ・裸の鳥(96分) 14:20～15:56
- ・名もなく貧しく美しく(128分) 16:05～18:13

■10月1日(水)上映時間

- ・名もなく貧しく美しく(128分) 10:00～12:08
- ・裸の鳥(96分) 12:40～14:16
- ・煙突の見える場所(108分) 14:25～16:13
- ・この広い空のどこかに(109分) 16:20～18:09

■お問い合わせ／和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331

■お問い合わせ(9月26日紀南文化会館大ホールのみ)／田辺市教育委員会文化振興課 TEL.0739-26-9943

11/22

けんぶんDE体験教室2014 講師募集

11月22日(土)に1日体験教室として様々なジャンルの体験教室を開催します。今回、この体験教室の講師として指導してくださる方を募集しますので、希望される方は下記お問い合わせ先まで

- 日時／11月22日(土)午前10時～午後4時 ■場所／和歌山県民文化会館会議室等
- 募集内容／文化・芸術分野でワークショップとしての企画を持ちの方で講師をしていただく方 ■募集件数／20件程度
- 応募方法／所定の応募用紙に必要事項を記入の上、郵送またはFAXで下記までお申し込みください

主催 和歌山県

主催・お問い合わせ

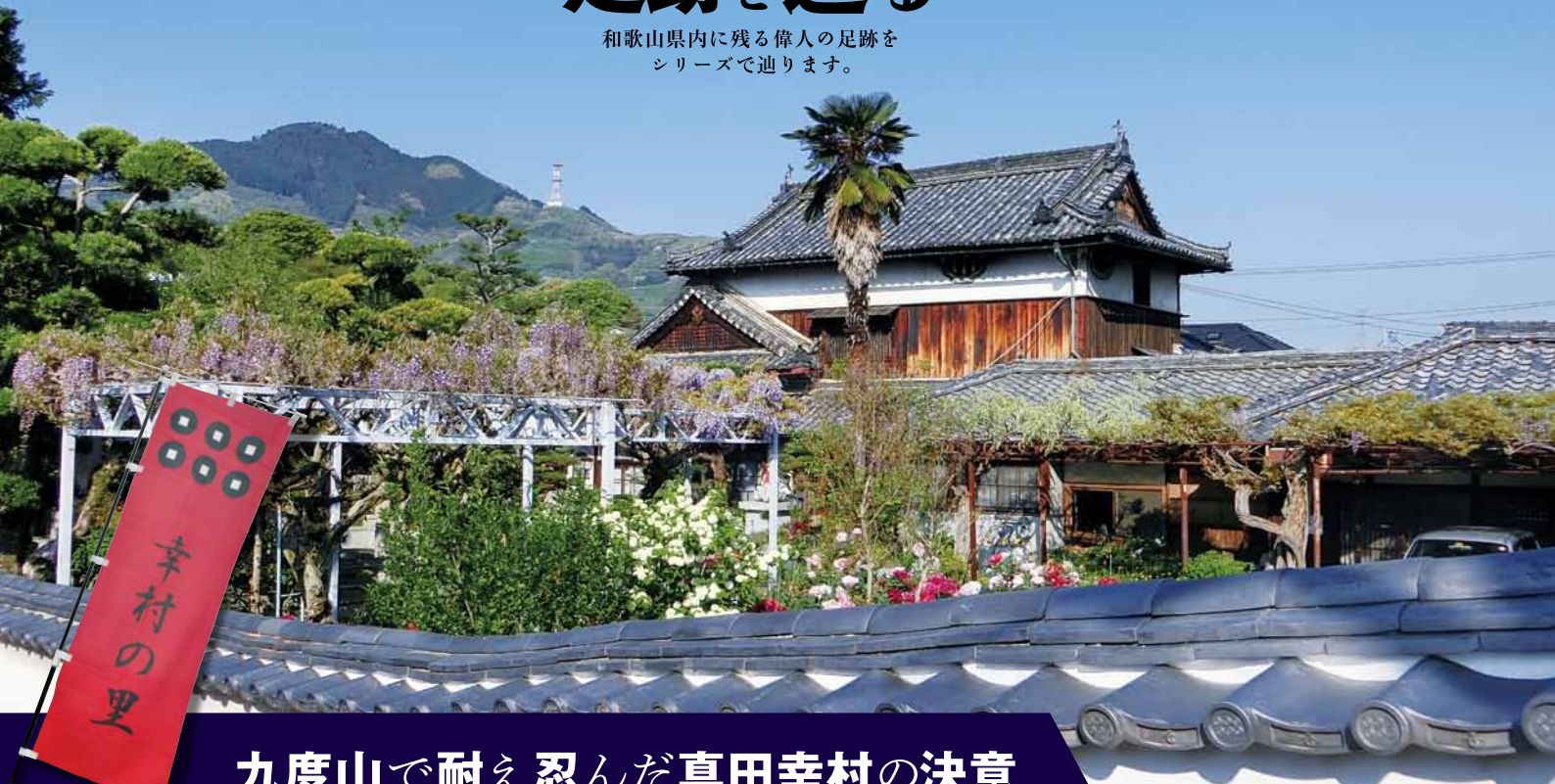
(一財)和歌山県文化振興財団(和歌山県民文化会館)

〒640-8269 和歌山市小松原通1-1 TEL.073-436-1331 FAX.073-436-1335

郷土の偉人の足跡を辿る

和歌山県内に残る偉人の足跡を
シリーズで辿ります。

「真田庵」は、真田幸村父子の屋敷跡に建てられたお寺。かつての歴史をしのばせています。



九度山で耐え忍んだ真田幸村の決意

戦国武将の中でも圧倒的な人気を誇る「真田幸村」。関ヶ原の戦い後、幸村父子は高野山に蟄居を命じられます。その後、麓の九度山に移り住みます。その跡地に建てられたのが、善名称院(ぜんみょうしょういん)、通称「真田庵」です。戦国時代最後の武将、真田昌幸・幸村父子隠棲の屋敷跡として県の史跡に指定されています。

創設は、寛保元年(1714年)大安上人によるもので、六文銭の紋が刻まれた門をくぐると、権現造りと呼ばれる重厚な本

堂が建っています。境内には開山堂(大安上人の廟)、真田昌幸の墓のほか、宝物資料館などがあります。

また、真田庵から徒歩10分ほどの場所には「真田の抜け穴」と伝承されていた「真田古墳」があります。また周辺を散策する人の休憩所「真田いこい茶屋」では六文銭があしらわれた真田グッズも販売されています。周辺の街並みはレトロな雰囲気がいっぱいなので、戦国時代に思いを馳せて町並みを歩いてみたいものです。



A/大安上人は昌幸の霊を慰めるため、この地の大神現の神様として祀りました B/散策する人のための「真田いこい茶屋」では地元の方との語らいも楽しめそう C/かつて「真田の抜け穴」と伝承されていた古墳時代後期の円墳 D/九度山駅から町の中心部に続く「真田のみち」。風情ある町並みのなかに見どころが点在しています。

真田信繁(幸村)

さなだ

のぶしげ

ゆきむら



上/真田庵の門に刻まれた六文銭 左/真田幸村像(上田市立博物館蔵)

大坂夏の陣に散った悲劇の武将

永禄10年(1567)、長野県で真田昌幸の子として生まれた幸村。豊臣秀吉に仕えていた幸村は関ヶ原の戦いで西軍に加わりますが、敗退したため、高野山に蟄居を命じられます。幸村父子は、真田家の菩提寺である高野山・蓮華定院に身を寄せますが、その後、九度山で暮らし

ます。ここでは兵術や天文を学んだり、紀ノ川で水練を試みるなど、戦いの準備も怠りませんでした。

そして慶長19年(1614)、秀吉公の恩義に報いるために九度山を後にし、大阪冬の陣に参戦します。激戦を繰り広げた後、壮烈な最期を遂げるのです。享年48才でした。

| History |

輝く、和歌山人

和歌山県内をフィールドに、文化、スポーツなどあらゆるジャンルで活躍する人を紹介します。



劇団KCM 代表
東 道さん AZUMA MICHİ

PROFILE

あずま・みち

● 海南市のアマチュア劇団として平成22年に発足した「劇団KCM」の代表であり、脚本・演出、役者も務める。地元編集者としての経験を生かし、和歌山に縁のある作品を中心に海南から発信。史実に基づく偉人たちの生涯に興味深く舞台で伝承し続けている。



「『平和』、『命』そして『愛』のメッセージを海南市から発信」

— 発足のきっかけは？

東 ● 「劇団KCMの前身は「アリスの会」。高齢者の生きがいづくりを目標に発足し、その中からシルバーミュージカルが誕生しました。60歳前後の男女60人ほどが集まって、歌って、踊って、楽しく演じていましたよ。劇団KCMとして再出発したのが、平成22年6月です。その年の11月の公演「一万葉ロマン 有間皇子」では海南市で300人近い動員数で、地元の皆さんと感動を分かちあえたと思っています。

— 現在の団員さんたちは？

東 ● 若いですよ(笑)。最年少は入団したばかりの小学4年生で、上は70代。現在、裏方のスタッフもあわせ25名ぐらいの団員がいますが、平均年齢は20代とフレッシュマンぞろいです。舞台経験がなくても、芝居や歌、ダンスが好きな人ならどなたでも大丈夫。小学校3年生以上から80歳まで、元気な

方、もちろんプロを目指す人も歓迎です。11月にはミュージカル「和歌の浦のあけぼの〜聖武天皇と宮子姫〜」の公演を予定。出演者募集中です。

— 劇団のモットーは？

東 ● 「平和」、「命」そして「愛」のメッセージを伝えていきたいと思っています。例えば有間皇子の場合、天皇の皇子として生まれたために命を狙われますが、自分がいかに生きるべきか悩み、民の幸せのために戦わずして死ぬことを選びます。生きたいと願いながらも民を愛し、死を選んだ有間皇子。餓鬼阿弥姿で地獄から蘇った「小栗判官」。江戸時代、吉宗とともに江戸に赴き天保の飢饉を救った「井澤弥総兵衛(いざわやそべえ)」。それぞれに精一杯生きた県内の偉人たちの姿を通して、現代人が見失った心を、観客の皆さまと考えていきたいと思ひ公演を続けています。歴史物はどうして

も硬くなりがちですが、歌あり、ダンスあり、ミュージカルという表現方法ですので楽しんでいただけたと思います。

— 次回の公演は？

東 ● 7月27日(日)に海南市民会館で「虹色のクローバー」を予定しています。今回の脚本・演出は団員の中村李弥が担当。シェイクスピアの「真夏の夜の夢」を原作とした、人間と妖精たちの物語で、こちらも「幸せ」と「命」がテーマになっています。限りある人間の生、永遠の命をもつ妖精たちの生き方など、立場や考え方の異なる人たちの、さまざまな人間模様を華やかな歌とダンスで表現しています。

虹色のクローバー

- 開催 / 7月27日(日)
- 会場 / 海南市民会館(海南市中央公民館)
- 時間 / 開演14:00 ● 料金 / 無料
- 主催 / 南野上人権尊重推進委員会・南野上公民館
- お問い合わせ / 劇団KCM TEL.073-478-2711

和歌山県立近代美術館便り

なつやすみの美術館4 生きている！

生きているとお腹も減るし、楽しくなったり悲しくなったり……いろいろなことがありますね。作品の中にも、さまざまなかたちで「生きている」ことが表現されています。

この展覧会では、暮らしやいろいろな生きものなど、4つの視点から作品の中に「生きている！」ものを見つけ、「生きている」ことについて考えます。



パラモデル《極楽百景 第八景 新世界 パーク温泉 斬新な入浴》
→ラムダプリント、2007(平成19)、100.0×120.0cm © paramodel
/ photo: paramodel Courtesy of MORI YU GALLERY

【会期】2014年7月12日(土)～9月23日(火・祝) 【開館時間】9時30分～17時(入場は16時30分まで)
【観覧料】一般510円、大学生300円 【関連事業】ダンス・ワークショップ、フロアレクチャーなどを開催します。詳しくはホームページかお電話でご確認ください。

■和歌山県立近代美術館ホームページ / <http://www.momaw.jp/>
■お問い合わせ / TEL.073-436-8690

カルチャーインフォメーション

万葉館

☎073(446)5553

「万葉日本画展」 ■7月3日(木)～9月28日(日)

和歌山市出身の日本画家である日本藝術院会員清水達三氏の生徒作品(6号;約20点)の展示です。万葉集に詠まれた風物や風景、花々等を日本画で表現しています。

「ハンドクラフトお月見のかべかけ作り」

■8月24日(日) 13:00～15:00

■講師/辻本久美子 ■受講費/1500円
■定員/先着20名(小学生～大人)



ハンドクラフトお月見のかべかけ作り

☎和歌山市和歌浦南3丁目1700 ☎9:00～17:00 休無 入館無料

和歌山県立博物館

☎073(436)8670

夏休み企画展「文化財に親しもう！」

■7月19日(土)～8月31日(日)

身近な神社や寺院などに残る文化財の大切さを、いっしょに考えてみませんか。種類や見方など、子供向けにわかりやすく解説します。



阿弥陀如来坐像(和歌山県立博物館蔵)

☎和歌山市吹上1-4-14 ☎9:30～17:00 休月曜(祝日の場合は次の平日)
☎一般280円、大学生170円

和歌山県立紀伊風土記の丘

☎073(471)6123

夏期企画展「熊野地域の考古学」

■7月23日(水)～8月31日(日)

県南部である熊野地域の歴史について、縄文時代から室町時代までの遺物を通じ、県北部とは違った特色を明らかにし紹介します。

体験学習「夏休みイベント」

■開催日/7/21・26、
8/2・6・7・9・13～17・30

※内容は各日異なるため要問い合わせ



☎和歌山市岩橋1411 ☎9:00～16:30 休月曜(祝日の場合は次の平日)
☎一般190円、大学生90円

和歌山県立近代美術館

☎073(436)8690

生誕120年 大亦観風

■開催中～9月4日(木)

和歌山市に生まれ、大正から昭和初期にかけ活躍した大亦観風(おおまたかんふう)。「万葉を描いた画家」として知られる彼の作品を、生誕120年を機に当館及び個人コレクションより約40点展示します。



大亦観風(神苑待御)制作年不詳
顔料紙二曲一隻屏風 当館蔵

同時開催:「コレクション展 2014-夏」

☎和歌山市吹上1-4-14 ☎9:30～17:00 休月曜(祝日の場合は次の平日)
☎一般340円、大学生230円

和歌山県立自然博物館

☎073(483)1777

名前のわからない標本の名前、調べます！一同定会

■8月24日(日) 9:30～17:00

昆虫、植物、貝、化石や石など、標本の名前を専門の学芸員と一緒に調べます。標本の作り方や自由研究のヒントなどの指導もします。

■費用/入館料のみ
■参加方法/時間内に標本を持参。
筆記用具の準備も!



☎海南市船尾370-1 ☎9:30～17:00 休月曜(祝日の場合は次の平日)
☎一般470円

郷土の歴史と文化が学べるスポット

県内の郷土の歴史と文化が学べる施設をシリーズで紹介します。

紀州漆器伝統産業会館 うるわし館

☎073(482)0322

日本が誇る伝統の技を手軽に体験

紀州漆器の起源は室町時代と伝わり、国から伝統的工芸品に指定されています。館内では紀州漆器の展示に加え、販売コーナーや漆器資料室が。さらに予約制で漆器蒔絵体験(体験料:丸盆700円～)もできます。



☎海南市船尾222 ☎10:00～16:30
☎毎月第2日曜日、お盆・年末年始 休無料

キャンペーン情報

和歌山県立近代美術館、和歌山県立博物館、和歌山県立紀伊風土記の丘資料館、和歌山県立自然博物館では、7月23日(水)～8月29日(金)の平日の入館料が50%割引になる「家族でお出かけ節電キャンペーン」が実施されます。

11/6(木)

劇団四季ミュージカル
ジーザス・クライスト=スーパースター(エルサレム・バージョン)

■開演/午後6時30分 ■場所/和歌山県民文化会館大ホール
■入場料/S席8,000円、A席6,000円、B席3,000円 ※全席指定
■チケットのお求めは/けんぷん友の会優先電話予約 7月28日(月)午前10時から
一般(プレイガイド)販売 8月8日(金)から
■お問い合わせ/和歌山県民文化会館 TEL.073-436-1331

8/15(金)
～24(日)

和歌山県文化表彰受賞記念展

平成25年度和歌山県文化表彰受賞者から三浦啓子さん(文化賞・ガラス造形)、多紀治子さん(文化功労賞・短歌)、田村由美さん(文化功労賞・漫画)、中平穂積さん(文化功労賞・ジャズ写真)の各氏の作品を展示します。

■時間/9:30～17:00 ■場所/和歌山県民文化会館 大展示室
■お問い合わせ/和歌山県文化国際課 TEL.073-441-2052

Wakayama

和歌山県文化情報誌 ワカピー Wakayama Culture and Arts POWER

【発行日】平成26年7月

【発行】和歌山県

【編集・問い合わせ】一般財団法人 和歌山県文化振興財団(ワカフ) 〒640-8269 和歌山市小松原通1-1(和歌山県民文化会館内)

☎073(436)1331 FAX.073(436)1335

【ホームページアドレス】http://www.wacaf.or.jp